



東九州コミュニティ放送(株)
スターコーンFM
社長 福田 みどりさん

会社の発展を目指して

平成12年(2000)1月に開局し、今年で21年目を迎えたラジオ放送局スターコーンFMは、社長の福田さんと社員の石川さん、三善さんの女性3人で運営しています。

地域密着型のメディアである利点をいかした情報の発信を心掛け、多くのスポンサーに助けられながら「重要な情報源である放送」を維持しています。常に謙虚な気持ちで堅実経営が第一と考える社長の理念を基に3人という小さな組織ですが、交替で生放送を担い、役割分担をしっかりとするなど、業務全体の効率化を図っています。

「これからも健康に気をつけ、会社の発展を目指し、万里一空の思いで任期中の業務を果たしたい」と抱負を語る福田社長。京築の旬な情報を爽やかな音楽と共にお届けしています。周波数FM76.7MHzで聴いてくださいね。

放送範囲：北九州、中津、田川の一部をカバー



話題
のお店

anne★kitchen
アンネキッチン

Keichiku Gourmet

「アンネ」はトルコ語で
「お母さん」という意味

上毛町で本場トルコの味！ 母ちゃんの手作りケバブ

アンネキッチンは日本では珍しい女性店主のケバブ屋さんです。店頭のお肉の塊は薄切りした肉をオリジナルスパイスに漬けこみ串に刺したものでゆっくり回転させながら焼いていきます。芳ばしくジューシーなお肉は日本人に合うように絶妙に味つけされており本場よりも美味しいと評判です。メニューはケバブライス(トルコピラフ)とケバブピタサンドがあり4種類のソースが選べます。デザートにはトルコアイスのドンドルマがオススメ！ケバブのノボリを目にご来店ください。(レポーター/リトルミイ)

*ケバブライス・ケバブピタサンド 各500円

*トルコアイス 400円



Shop Information

[住]上毛町東下1487
[電]090-8626-0448 [P]有り

[営]11:30～17:00 土・日・祝※平日休み
*平日営業はフェイスブックなどでお知らせします。



編集後記

4月より豊の国けいちくの編集に携わらせていただくことになりました。新型コロナウイルスの影響でなにかと暗くなりがちな昨今ですが、その雰囲気を吹き飛ばし京築地域を大いに盛り上げていきたいと思っておりますのでよろしくお願ひします！(はやく京築観光したいです…)

(レポーター/うっしー)

豊のくにけいちく

「京築応援団」団員募集中！(入会無料)

京築を応援するファンクラブに入りませんか？
お申し込みは「京築まるごとナビ」から

発行：京築連帯アメニティ都市圏推進会議 事務局（福岡県広域地域振興課内）
企画編集：京築応援団会報編集委員会、豊の国海幸山幸ネット

問い合わせ：福岡県広域地域振興課／〒812-8577 福岡市博多区東公園7番7号
TEL.092-643-3178 / FAX.092-643-3164 / E-mail:koiki@pref.fukuoka.lg.jp

京築ってここ



ご当地難問クイズ



（問1）求菩提山に住んでいたという天狗の名前は？



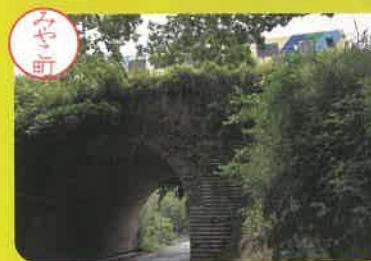
（問2）百留横穴墓群の何基ある？



（問3）この貯水槽がある公園の名前は？



（問4）東京スカイツリーより3m高い築上町の山は？



（問5）レンガ造りの半分が下駄の歯状に積まれているわけは？



（問6）刈田町の山で取れるセメントの原料はなに？



（問7）今年4月に誕生したこの図書館の名前は？



Toyonokuni Keichiku 2020 July
©IZUMI HARAGA

ゆるキャラたちと友だちになろう！

新型コロナウイルスとの戦いが始まった2020年も夏を迎え、38号でご紹介した聖火リレーは延期に。「ステイホーム」や「新しい生活様式」が呼ばれるwithコロナの毎日が始まりました。

こんな時だからこそ、知ってるつもりで知らない!? 京築の魅力を伝えようと「けいちく検定」を考案。また、民話瓦版では、行橋市の「今井祇園さん」こと須佐神社に伝わる「赤ベンチヨロの石段」をご紹介します。祇園信仰を辿れば、わたしたちの暮らしの中で繰り返されてきた疫病との戦いの歴史が見えてきます。クイズに挑戦しながら、京築の特産品を味わってみるのはいかがでしょうか？



けいちく検定 1 ゆるキャラ編

私はだれでしょう？

ここに登場するゆるキャラたちは、京築の7市町をPRするために生まれてきました。このゆるキャラの名前をお答えください。(正解は中面で)

ぼくは、みやこ町伝承の神楽の衣装を身にまとい、頭には福岡県の有形文化財に指定されている国分寺三重塔の帽子を被った古を偲ぶ男の子です。

ぼくは求菩提山に住む天狗の男の子です。経読岳に住むガールフレンドのきょうこちゃんと市のイベントで大活躍！ 街にはぼくの銅像も立っています。



わたしは刈田町に伝わる民話に登場する海の女神です。町の魅力をたくさんの人伝えほしいという想いが込められています。

ぼくは、吉富町にある八幡古表神社の伝統行事「放生会」で奉納される「神相撲」をモチーフに、町にCome in!という気持ちをこめて名づけられました。

わたしたちは、上毛町の安全でおいしい食べ物をPRするために生まれました。九州一輝く町をこうげマンとPRしています。

ぼくは行橋市の夏祭「こすもっぺ」のPRキャラクターとして生まれました。友だちのユッコと市のイベントに登場しています。

ぼくは築上町の海や山、自然をこよなく愛する少年です。海と山の雲をモチーフにした輪郭に「築上」の文字で表情を表現しています。



豊の国 京築かるた 紀行

夏もなお 絶えぬ 冷泉

畠の谷



豊前市畠、角田川の上流にある「水神社」の境内に、大樟の木があります。樹齢850年、胸高6m、樹高約15m、根回り9m、双幹となる樹形は美しく、樹勢も旺盛な根元より多量に湧き出す靈水があります。

ここは、かつて修験の山として信仰を集めた求菩提山の山伏や神職が、みそぎを行うための聖なる場所、人々の立ち入りは固く禁じられていました。明治の世となり修道は廃止となりました

が、明治36年(1903)、地元の神官だつた島田政平が禊場を石組露天の浴場に改造、一般開放し

表紙に掲載した「けいちく検定①」は何問正解できましたか?市町のゆるキャラは可愛いだけじゃない!知れば知るほど、キャラに込められた市町の願いや誇りが伝わってきます。京築ゆるキャラが伝える市町の魅力や地域の特産品を特集します!

ふるさとミュージアム

絆・神奈エコロジー

ここは、かつて修験の山として信仰を集めた求菩提山の山伏や神職が、みそぎを行ったための聖なる場所、人々の立ち入りは固く禁じられていました。明治の世となり修道は廃止となりました

が、明治36年(1903)、地元の神官だつた島田政平が禊場を石組露天の浴場に改造、一般開放し

水で口当たりもやわらか。近年は名水ブームで、多くの愛好家が水汲みに訪れます。また、冷泉が注ぎ込む角田川の川底は、大きな一枚岩が広がり、夏は河川ブルーとして子どもたちの人気スポットになっています。谷を少し登れば神秘的な三谷池が水をたえ、冬場はオシドリ、カモの姿も見られます。

(レポーター/ヒメジャガ)

けいちく検定 2 地産地消編

ゆるキャラ特産品クイズ!

表紙に掲載した「けいちく検定①」は何問正解できましたか?市町のゆるキャラは可愛いだけじゃない!知れば知るほど、キャラに込められた市町の願いや誇りが伝わってきます。京築ゆるキャラが伝える市町の魅力や地域の特産品を特集します!



遊・食・自然の里 豊前

豊前ジビエウイナー

豊前

美味しい加工品ならん?

豊前

市で採れる海の幸、山の幸を使つた

豊前

豊前ジビエセンター

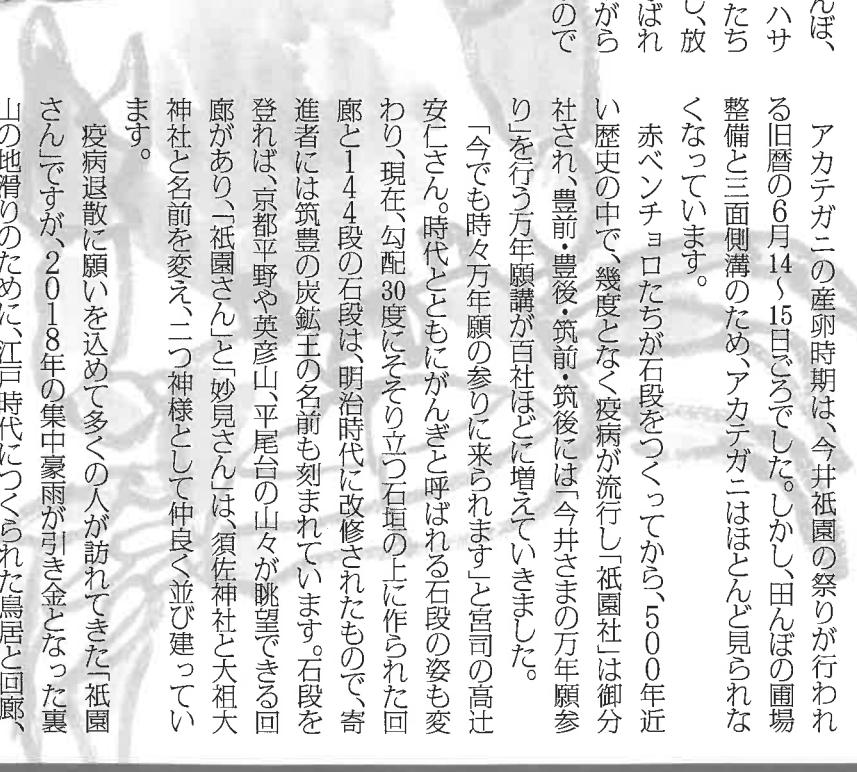
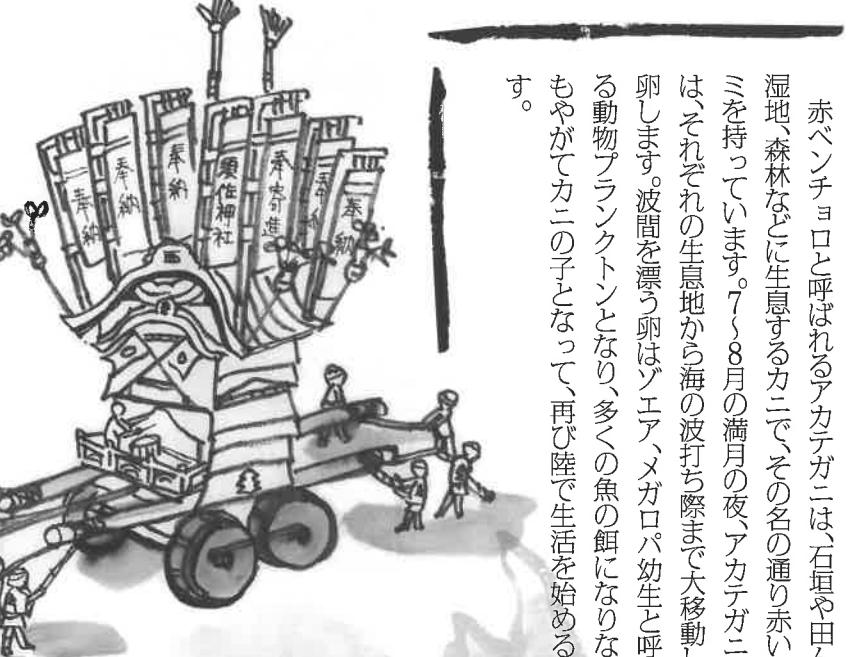
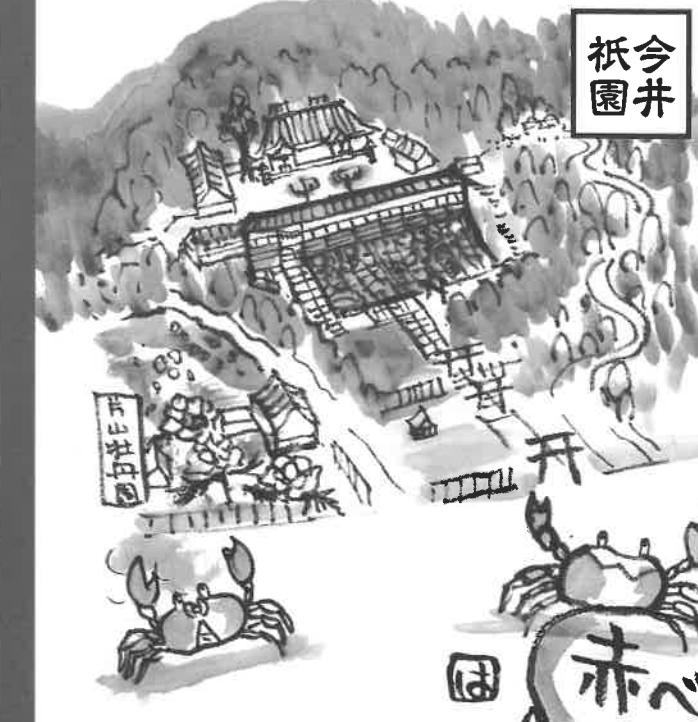
豊前

京築民話の ふわふわいしの石版

その四

新型コロナウイルスとの戦いが始まった2020年も夏を迎えます。夏といえは「祇園祭り」。この祭りの意味を問い合わせば、わたしたちの暮らしの中で繰り返されてきた疫病との戦いの歴史が見えてきます。

今回は疫病退散に想いを込めて「赤ベンチョロの石段」という行橋市元永にある今井祇園じと須佐神社に伝わる民話を紹介しましょう。



赤ベンチョロと呼ばれるアカテガニは、石垣や田んぼ、湿地、森林などに生息するカニで、その名の通り赤いハサミを持っています。7~8月の満月の夜、アカテガニたちは、それぞれの生息地から海の波打ち際まで大移動し、放卵します。波間に漂う卵はゴエア、メガロパ幼生と呼ばれ、多くの魚の餌になりながらもやがてカニの子となって、再び陸上生活を始めるのです。

アカテガニの産卵時期は、今井祇園の祭りが行われる旧暦の6月14~15日(ひのひ)でした。しかし、田んぼの圃場整備と三面側溝のため、アカテガニはほとんど見られなくなっています。

赤ベンチョロたちが石段をつくってから、500年近くの歴史の中で、幾度となく疫病が流行し「祇園社」は御分社され、豊前・豊後・筑前・筑後には「今井さまの万年願参り」を行う万年願講が百社ほどに増えています。

「今でも時々万年願の参りに来られます」と宮司の高辻安二さん。時代とともにがんぎと呼ばれる石段の姿も変わり、現在、勾配30度にそり立つ石垣の上に作られた回廊と144段の石段は、明治時代に改修されたもので、寄進者には筑豊の炭鉱王の名前も刻まれています。石段を登れば、京都平野や英彦山、平尾台の山々が眺望できる回廊があり、「祇園さん」と「妙見さん」は、須佐神社と大祖大神社と名前を変え、「一つ神様」として仲良く並び建っています。

疫病退散に願いを込めて多くの人が訪れてきた「祇園さん」ですが、2018年の集中豪雨が引き金となった裏山の地滑りのために、江戸時代につくられた鳥居と回廊、石段の一部が壊れ、現在も通行止めが続いている。今井祇園の氏子であり「今井祇園復興会」の事務局長の末次辰也さんは「皆さんのお寄せも集め多くの人の力で今井祇園の復興を目指したい」と、NPO法人今井祇園祭元永山笠振興会の会長で元永の担ぎ山を復興させていく片山豊嗣さんたちとともに頑張っています。

伝統の祇園祭や奉納連歌などの文化の発信基地でもある祇園社の復興は、大工事が予測され資金面も厳しい状況です。しかし力を合わせて築きあげるの尊さを「赤ベンチョロ」の姿で伝えようとした先人の知恵に学びながら、令和の今こそ石段復興を成し遂げたいのです。

都の祇園神を今井村前兼の地に勧請して120年間、祇園祭りを行橋市元永にある須佐神社は、明治以前は「今井津祇園社」と呼ばれ、北部九州の祇園信仰の発祥の地でした。

祇園信仰とは、災厄や疫病をもたらす御靈を鎮める力を牛頭天王やスサノオを祀り疫病退散を祈る信仰です。その中でも今井祇園の歴史は古く、今井西地区に伝わる「祇園舍略年譜」によると、898年に今井津に疫病が流行し900年に根津金屋に瑞籬をたて疫病平伏を祈り、930年に祇園神を元永妙見山に奉遷し968年に祇園祭が始まっている記録があります。また、1254年に今井津に疫病が流行し今井村地頭福島采女と村上左馬頭が京都で869年に始めたもので、博多の櫛田神社では1243年に京都の祇園社から勧請疫病退散の祇園信仰は、平安時代の都であつた京都で869年に始まったもので、博多の櫛田神社では1243年に京都の祇園社から勧請し祇園祭が始まるとされていることからも、疫病退散の祇園信仰は、平安時代の都であつた京都に面した祇川(根津川)と今川の河口に開けた今井津が、博多と並ぶ九州の玄関口で、瀬戸内海の交易都市であり、疫病の感染リスクも高かつたところが読み取れるのです。

『郷土のものがたり京築』 著書房
『連歌の里ゆくはし』 行橋市歴史資料館
『今井津須佐神社パンフレット』 お宮だより「おおんさん」